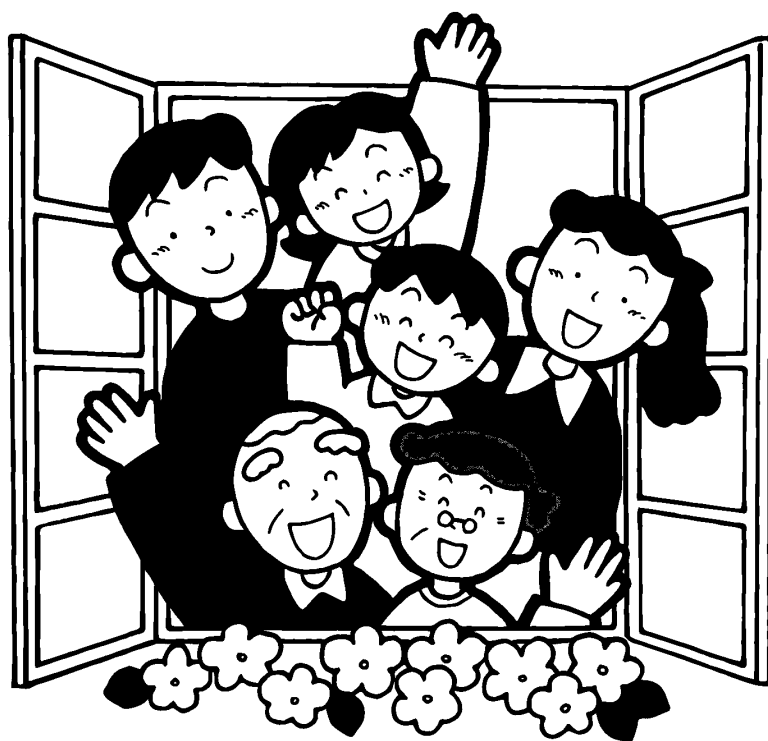


泉佐野市地域福祉計画



平成18年（2006年）3月

☂ 泉佐野市

はじめに

少子化や高齢化、核家族化が進む中、都市化の進展や生活様式の多様化などにより、地域社会での人と人、人と地域のかかわりが希薄になったといわれています。一方で、子育てや教育、高齢者等の福祉の分野で地域関係の大切さが見直されています。

泉佐野市では、平成16年度(2004年度)から「住み慣れた地域で安心して暮らしつづけることのできるまちづくり」をめざし、市民、さまざまな団体、福祉サービス事業者、行政などが互いに役割と責任についての理解を深め、地域の課題を市民自らが考え、相互に助け合い支えあうことのできる地域社会づくりをめざした「地域福祉計画」の策定に取り組んでまいりました。

本計画では、「違いを認めて、互いに尊重し合い、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現」を基本理念として、地域住民、社会福祉協議会、地域団体、民間団体、福祉サービス事業者、行政など地域に関わるすべての人々が連携・協働し、さまざまな生活課題をくみあげ、支援を必要としている人を支える仕組みづくり、人と人、人と地域をつなぐ仕組みづくりを進めながら、いつまでも安心して暮らし続けられる地域づくり、人づくりの仕組みをつくることが、主な内容になっています。

今後、安心して暮らせる心かようまちづくりの実現に向け、計画に沿って積極的に取組みを進めてまいりますので、市民のみなさまのより一層のご理解とご協力を心からお願いいたします。

計画の策定にあたりましては、校区検討会の開催や市民意識調査、関係団体ヒアリングの実施、パブリックコメントの実施など、幅広く市民の皆様のご意見を伺うとともに、学識経験者、関係団体、市民で構成する泉佐野市地域福祉計画策定審議会において検討を重ねてまいりました。貴重なご意見、ご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました策定審議会委員の皆様、またご協力いただきました関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

平成18年(2006年)3月

泉佐野市長 新田谷 修司

目 次

第1章 計画策定の趣旨	1
1. 策定の背景	1
2. 計画の目的	2
3. 計画の位置づけ	3
4. 地域福祉計画と他の計画との関係	4
5. 計画の期間	4
6. 計画の策定方法	5
(1) 計画の策定体制	5
(2) 地域福祉に関する市民意識調査	6
(3) 校区検討会	7
(4) 団体等ヒアリング調査	9
第2章 計画の理念と目標	11
1. 基本理念	11
2. 基本目標	13
第3章 施策の体系	14
第4章 計画の内容	16
基本目標1 暮らしの安心につながる支えあいの仕組みをつくる	16
(1) 小地域ネットワーク活動の促進	17
(2) 地域住民の交流促進	18
(3) 緊急・災害時の助けあい機能の確立	19
(4) 福祉意識の醸成	20
基本目標2 福祉から進めるまちづくりの仕組みをつくる	22
(1) 地域で活動する民間団体等の支援と連携	24
(2) 社会福祉協議会との連携	26
(3) ボランティア活動の活性化	28
(4) 資金の確保	30
(5) 「地域福祉セーフティネット（仮称）」の展開	32
基本目標3 地域福祉の充実と推進の仕組みをつくる	35
(1) 総合相談体制の充実	36
(2) 地域福祉推進体制の整備	38
(3) 第三者評価システムの構築	39
資料編	41
1. 泉佐野市地域福祉計画策定審議会委員名簿	43
2. 泉佐野市地域福祉計画策定審議会規則	44
3. 策定の経過	49
4. 用語解説	50